

様式第3号（第11条第2項関係）

議 事 概 要 書	
令和7年度第1回玉野市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業運営協議会	
開 催 日 時	令和8年2月10日（火曜日）13時30分から15時00分まで
開 催 場 所	玉野市役所 4階 第1委員会室
出 席 委 員	玉野市高齢者保健福祉事業及び介護保険事業運営協議会委員13名 （委員総数17名）
傍 聴 の 可 否 （非公開の理由）	可
傍 聴 人 数	0人
審 議 概 要	<p>1 あいさつ</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 概要説明</p> <p>4 市からの説明及び報告</p> <p>（1）介護保険事業計画の実施状況について</p> <p>（2）第9期計画のサービス基盤整備計画及び進捗状況について</p> <p>（3）第10期計画策定スケジュール及び各種調査の実施情報について</p> <p>5 協議事項</p> <p>ご意見・ご協議いただきたい項目について</p> <p>① 2040年問題について</p> <p>② 介護人材の確保について</p> <p>③ 市町村認知症施策推進計画について</p> <p>6 その他</p> <p>【議事概要／市からの説明及び報告】</p> <p>介護保険事業計画の実施状況について</p> <p>〈委員〉玉野市の人口統計をホームページから毎年見ているが、人口減少率が減ったように思うがその認識でよいか。</p> <p>また、玉野市に住んでもらうための施策は？</p> <p>〈事務局〉高齢者の割合は増加していく一方、年少人口は減っている。人口減少については行政全体で包括的に取り組んでいきたい。</p> <p>〈委員〉どの会議に行っても、どの統計をみても人口は減っている。人口が増える方策はないか。</p> <p>〈事務局〉全国的な少子化の波に抗った政策を行っていくことを前向きに考えていきたい。</p>

第9期計画のサービス基盤整備計画及び進捗状況について

〈委員〉今後、高齢者人口が増えていくが、介護施設の数をマネジメントしているか。

〈事務局〉今の介護施設の整備計画でほぼ充足されてきたという感覚を持っている。現状として、一年くらいで希望の施設に入所できている。今後については、次期計画に向けてご意見を伺っていきたい。

〈委員〉今後、施設経営を辞めると言われた時は、やむを得ないのか。

〈事務局〉市としては、なるべく続けていただきたいと考えている。

〈会長〉福祉はサービス量が足りていればいいというだけではなく、文化だと思っている。地域に根ざし長い目で持続可能な仕組みを作ってほしい。

〈委員〉事業所が辞めたいとなった時、補助金等はあるか。

〈事務局〉今のところはないがそういった状況になれば検討が必要と考える。

第10期計画策定スケジュール及び各種調査の実施について

〈委員〉施設入所はどのくらいの待ち状況か。

〈事務局〉概ね一年くらいで入所可能な状況。

〈会長〉アンケート中、自由記述をもうけなかったのはなぜか。

〈事務局〉国が定める基本的な項目を前提としたアンケート調査のため、今後、自由記述について前向きに検討していく。

【議事概要／協議事項】

2040年問題について

〈委員〉2040年には高齢化になり、医療、介護サービス量が増えていくが、働く世代が減っていき、介護人材不足になる。職員が辞めない工夫を今から考えていけたらと思う。

〈委員〉処遇改善加算や待遇改善を図ると、今度は介護給付費の増加になる。そのバランスを考えながら進めてほしい。

〈会長〉職場内での環境が大事と思う。

〈委員〉職場の環境と報酬の改善が必要。

〈委員〉玉野市の養護老人ホーム定員割れはないか。

〈事務局〉定員50名で、入所は45名で定員割れしている。

〈委員〉実際は、養護老人ホームに入りたいが、入れていない人もいるのが現実。

〈会長〉策がなくとも、状況把握が大切なことなので、そこを課題視してほしいと思う。

介護人材の確保について

〈委員〉介護福祉士等の奨学金制度について、玉野市の現状は？

〈事務局〉しばらく利用がなかったが、今年度は、応募があった。これは、一定期間、玉野市内の事業所で勤めると奨学金の返還が免除になる制度である。

	<p>〈委員〉人材不足は、介護職に限らない。貰う賃金が多ければ奨学金等も返還できる。国に要望するのが一番の早道になる。</p> <p>〈委員〉介護の需要のために介護保険事業計画を立てているが、入所待ちの人数を調査しているのか、満床率を調査してるのか？</p> <p>〈事務局〉各事業所の定員数等を加味し、全体の需要と供給を確認している。</p> <p>〈委員〉施設入所を希望している人は、すぐにでも入所したいのに入所できない状況があることを理解してほしい。その上で、施設が過剰にならないように計画を立ててほしい。</p> <p>〈委員〉人材確保について、介護人材向けに、玉野市の空いている市営住宅に無料で住めるといったことをすればどうか？インパクトがある施策を、一点突破で打ち出す段階にあるのではと思う。</p> <p>〈会長〉高齢者福祉の雇用の創出と、子育ても含めた地方での生活を上手くフィッティングさせている自治体もある。</p> <p>認知症施策推進計画について</p> <p>〈委員〉認知証を防ぐのに、加齢性難聴者が補聴器をつければ遅らせられると聞いた。健康保険の適用など、対策を進めてもらいたい。</p> <p>〈事務局〉加齢性難聴は、認知症とも関連性が深いことが明らかになってきている。当市も補助制度に前向きに取り組んでいきたい。</p> <p>〈委員〉今後、認知症の人が増えていくことを懸念している。</p> <p>〈委員〉医療、介護、福祉、歯科の専門職が一緒になって、いろいろな方策を考え、頑張っていきたい。</p>
特記事項	なし
事務局	玉野市健康福祉部 長寿介護課 電話（０８６３）３２－５５３７